

## かごしま再生可能エネルギーファンドへの出資決定の公表について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、鹿児島ディベロップメント株式会社（所在地：鹿児島県鹿児島市 代表取締役社長：田中正治）がファンド運営者である「かごしま再生可能エネルギーファンド投資事業有限責任組合（かごしまグリーンファンド）」に 5 億円の LP 出資を決定したことを公表致します\*。

鹿児島ディベロップメント(株)は、鹿児島銀行等が出資するファンドの業務や、太陽光発電事業等を行っており、現在、3 本のファンドを運営しています。

本ファンドは、鹿児島ディベロップメント(株)、鹿児島銀行及び鹿児島県が一体となり鹿児島県内にて再生可能エネルギー事業に取り組む事業者の円滑な資金調達を支援し、再生可能エネルギー事業の更なる普及・拡大を図ることを目的に設立します。

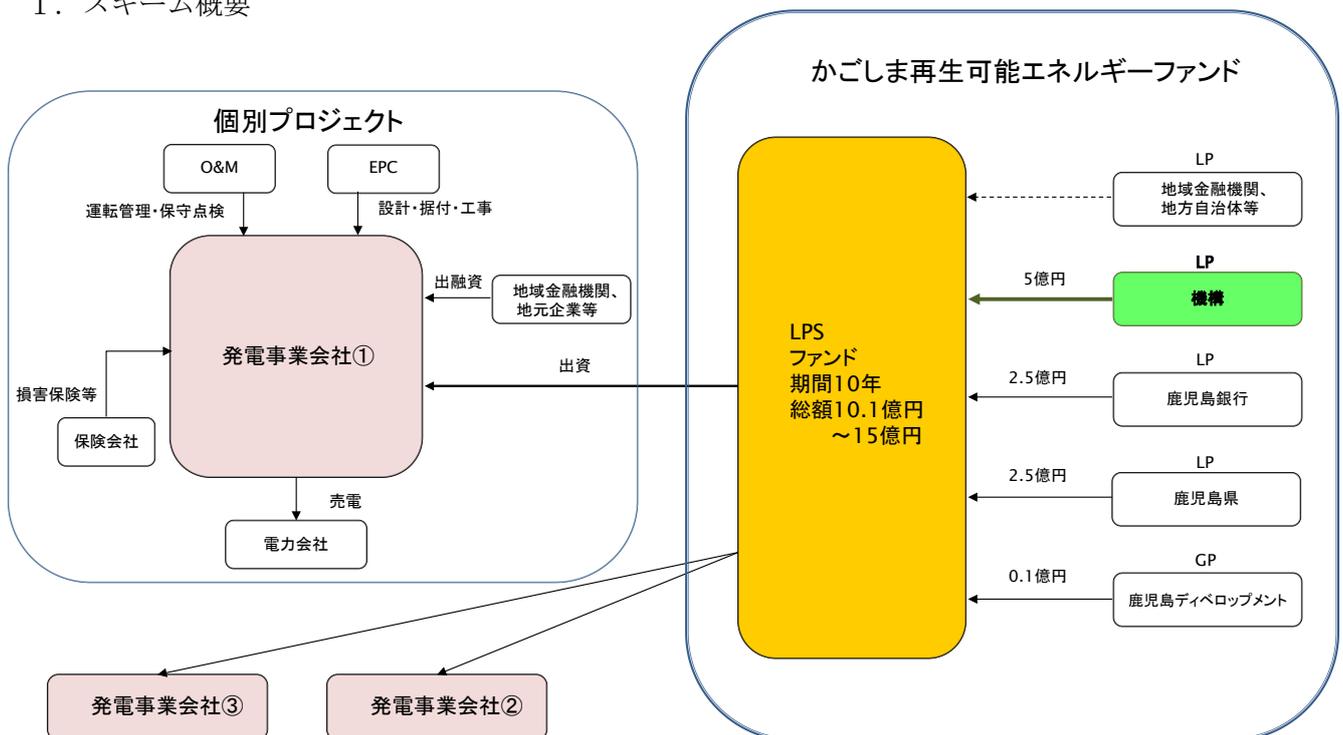
本ファンドの投資対象は、鹿児島県の地域特性を生かした再生可能エネルギー事業（地熱、バイオマス（畜産、焼酎粕）、小水力等）を主な対象とします。

今回、本ファンドは、機構や鹿児島銀行、鹿児島県が有限責任組合員（以下「LP」）となり組成されますが、今後、最大 15 億円程度のファンド規模を目指し、無限責任組合員である鹿児島ディベロップメント(株)（以下「GP」）が、地域金融機関や地方自治体等に出資の呼び掛けを行う予定です。

「地域活性化」の観点から、地域金融機関と地方自治体が連携したファンドは、機構の出資目的と合致するもので、過去に取り組んだ「おおいた自然エネルギーファンド」に続き、他都道府県へのファンド展開が期待できること、機構の出資が本取組における民間資金の呼び水効果となることに鑑み、出資決定致しました。

\*本件は、平成 26 年度に出資決定を行ったものですが、関係者等との案件公表に係る調整が整ったことから、今般、公表するものです。

### 1. スキーム概要



(説明)

- ① 本ファンドに、機構が 5 億円、鹿児島銀行が 2.5 億円、鹿児島県が 2.5 億円、を LP として出資します。GP である鹿児島ディベロップメント(株)はファンド運営者として、最大 15 億円程度まで LP 出資者を募集します。
- ② GP は、鹿児島県内に本社又は主たる事業所が存する企業が鹿児島県内において行う再生可能エネルギー事業（地熱、バイオマス（畜産、焼酎粕）、小水力等）に主に出資していきます。

## 2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 地域金融機関と地方自治体が連携したファンドは「地域活性化」の観点から機構の出資目的と合致するもので、他都道府県へのファンド展開が期待できること。
- ② 鹿児島県の地域特性を活かした再生可能エネルギー事業を投資対象とするファンドを創設し、事業者の資金調達を円滑にすることにより、再生可能エネルギー事業の更なる普及・拡大や雇用の創出、税収の増加等の地域活性化へと繋がること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 7,004t-CO2/年を想定）。

---

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>

---